

一般質問通告書

No. 1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 29 年 5 月 16 日
東村山市議会議長 様

議席番号 24 番
質問者 さとう 直子

記

番号	質問の項目と要旨
1	交通不便地域の解消について
	東村山市では、賑わい・活気のある街づくりを目指すため、市内の公共交通ネットワークを充実し、誰もが外出しやすく不便を感じさせない交通網を検討していますとコミュニティバス新規導入ガイドラインにうたわれていることを前提に以下伺う
	① 現在交通不便地域は何か所あるか伺う
	② 第 4 次総合計画、基本目標 4、施策大綱 4—2 では交通ネットワークと交通環境の整ったまちをつくると、掲げていますが、実施計画事業名の中に交通不便地域の解消につながる計画が無いのはなぜか伺う
	③ 高齢化率が 30%を超える地域はいくつの町が該当するか伺う
	④ 交通不便地域と高齢化率 30%と重なる地域はどれくらいあるか伺う
	⑤ 3 月の地域公共交通会議で本格運行が決定した東村山駅西口から久米川駅までの「富士見・美住」の路線は最も高齢化の進んでいる富士見地域を含めて検討され、運行時間の関係で北と南のルートに分けざるをえなかった残された、南ルートの検討は進んでいるか伺う
	⑥ 南ルートの地域は狭い道路が多く、民間の路線バスも運行しているため難しいと言われているが、民間バスに接続することでより利便性が高まるという考えはないのか伺う
	⑦ 富士見・美住ルートの収支率を上げるために、住民アンケートで要望が多かった増便について検討されたか伺う
	⑧ 富士見南ルートも含め、ガイドラインにあてはめると運行できない地域が多く発生する、ガイドラインで救済できない地域についてどのように考えているか伺う
	⑨ 隣の小平市ではにじバスは 20 分間隔ぶるべー号は 30 分間隔で運行されている、東大和市も 1 時間ではあるが間隔が一定である。市内の民間バスも、一定の間隔で運行している。それが利用しやすさにつながり収支率の向

番号	質問の項目と要旨
	上にもつながると思うがそのような運行は検討されたのか伺う
	⑩ 高齢者割引の導入は検討されているか伺う
	⑪ シルバーパス導入について西武バスに協議の申し入れは行ったか伺う
	⑫ 市内の民間バス銀鉄バスは65歳以上の方に9990円の年間定期を販売、
	運転免許を返納した方は1年間無料で提供し高齢者の外出を支援している。
	民間バス事業者が活気ある街づくりに貢献しているのですから、第4次総合
	計画をより推進し、活気ある東村山にするためにも大英断が必要と思います、
	が市長の考えを伺う
	運転免許を返納した方は1年間無料で提供し高齢者の外出を支援している。
	民間バス事業者が活気ある街づくりに貢献しているのですから、第4次総合
	計画をより推進し、活気ある東村山にするためにも大英断が必要と思います、
	が市長の考えを伺う
2	就学援助について
	① 今年度より就学援助の入学準備金が増額されたが、増額された分はいつ
	支給されるか伺う
	②入学準備金の前倒し支給については、文部科学省からも実施可能との通知
	が出されている。東村山では前倒し支給の検討はしないのか伺う
	③H29年度の就学援助の対象者を何人と見込んでいるか、小学校・中学校
	それぞれで伺う
	④H23年度からH28年度までの就学援助の受給者数の推移をどのように
	分析しているか伺う
	⑤就学援助の受給対象者は昨年、大幅に減少している。生活保護費削減の激
	変緩和措置が終わったためとのことだが、対象世帯の所得基準も下がってい
	るとのことだ。このことを考えれば元の1.5倍に戻す必要があると考え
	るが見解を伺う
	⑥子どもの貧困率約16%と言われているが、当市の中学生で就学援助を受
	けている割合は18%と貧困率より高いが、貧困の実態は把握できているか
	伺う